

第23回 吉野町地域公共交通協議会  
議事録(要旨)

■日時： 平成30年2月22日(木) 午前10時30分～午前11時30分

■場所： 吉野町中央公民館5階 閲覧室

■出席者：

所属・役職	氏名	備考
吉野町 副町長	和田 圭史	会長
近畿運輸局奈良運輸支局 運輸企画専門官	中井 睦	
奈良県吉野土木事務所 計画調整課長	山下 直之	
奈良県吉野警察署 交通係長	西浦 敏正	
奈良県県土マネジメント部 地域交通課	境内 聡志	
吉野町区長連合会 会長	井上 幸次郎	
吉野町老人クラブ連合会 会長	ご欠席	
一般社団法人吉野ビジターズビューロー 専務理事	田中 敏雄	
社会福祉法人 吉野町社会福祉協議会 副会長	上平 美知子	
奈良県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	布田 尚弘	
公益社団法人 奈良県バス協会 専務理事	ご欠席	
一般社団法人 奈良県タクシー協会 専務理事	吾妻 孝義	
奈良交通株式会社 運行サポートセンター長	志茂 敦史	
奈良交通株式会社 吉野支社助役	七尾 和善	
一般社団法人 奈良県タクシー協会 吉野支部長	戌亥 幸子	
一般社団法人 奈良県タクシー協会 吉野支部	戌亥 郁子	
吉野大峯ケーブル自動車株式会社	ご欠席	
吉野町教育委員会 学校教育推進室長	紙森 智章	
岸野都市交通計画コンサルタント(株) 代表取締役	岸野 啓一	
吉野町 総合政策課 地域政策室室長	上林 勝則	事務局
吉野町 総合政策課 地域政策室主査	松田 有史	事務局
吉野町 総合政策課 地域政策室主査	八鈞 直己	事務局

■配布資料：

- ・第23回吉野町地域公共交通協議会 次第
- ・出席者座席表
- ・第23回吉野町地域公共交通協議会出席者 名簿
- ・吉野町地域公共交通協議会委員の変更について(案) (資料1)

- ・スマイルバス運行計画の見直しについて(案)(資料2)

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 委員紹介
4. 議題

【1】吉野町地域公共交通協議会委員の変更について

- ・(資料1に基づき事務局説明)
- ・出席委員全員異議なく承認される。

【2】スマイルバス運行計画の見直し(案)について

- ・(資料2に基づき事務局説明)
- ・質疑等

委員:

皆様異動などご担当も変わられたりすることもあるので、もともと地域公共交通協議会の趣旨を説明させていただきます。普段でしたら一般の路線バス、タクシーが地域の交通機関として機能しているわけでありますが、この地域教協交通会議での乗り合い、コミュニティバスの運賃設定など、事業者が市町村有償運送についての合意や、路線 廃止などを決定していくことができるということがメリットです。要は、地域公共交通のあり方をみんなで合意しているというわけであります。

地域間の交通において、高齢者や子供みんなが豊かに暮らせる地域にするために交通がない地域を解消する目的で、手段としてバス、タクシー、町営バスがどう担うかということ話し合う場であります。

今回はスマイルバスのみの議題になっていますが、地域の交通のあり方を協議する場であるということ再認識いただければと思います。

こういうお話をさせていただきますのも、2月9日付の新聞で岡山県両備バスグループが31路線を撤退するという記事がでました。これは、地域の合意がないままに、黒字路線に他の事業者が参入してきて、赤字路線を撤退するというものでした。

議題の質問として、3、5番について、どのくらいの需要か、タクシー事業で賄えないのか、タクシーの黒字を考えないとスマイルバスでやってしまうと民業圧迫になりかねないので疑問に思いますがいかがでしょうか。役割分担をしていただきたいという風に思っています。需要量によりタクシーを使うことも重要であるし、補助などの手段で町の財政負担を減らすこともできるかもしれません。そのあたりのお考えをお聞きしたいと思います。

事務局(コンサルタント):

3番についてはつい最近の提案なので精査できていません。今後具体化していきたいと考えています。

年末運についてきっちり予測したわけはないですが、東吉野村は年末平常運行している実態のデータをみていると普段の平日とかわらないので、おそらく吉野町の場合平日の運行 全体で一日100人弱ご利用があります。通学の利用があるのでそこまでいくかわかりませんが、5~60人の

お需要が見込まれます。それらの方をすべてタクシーで賄うのは大変と考えます。

東吉野村が29日平日運行で新子まで接続で走っているそれが吉野町に入ったとたん運休となっているので29日については平常運行、30日についてもタクシーだけだけでいこうとおそらく30人程度のご利用があるかと思しますので土曜日ダイヤでの運行にさせていただこうという形になります。

議長：

皆様の利用客データ運行について根拠になるが、PDCAサイクルで住民の意見を聞きながら、なおかつ効率的な運行で検討していきたいと思います。

委員：

4、5番で今後、どうなったらどうしていくのかという指針を決めていかないと、この地域は残ったがこの地域は廃止とかで、もとのルール付けを整理するがあると思います。

また、1番ですが、吉野病院発から上市駅発への変更ということですが、電車での利用はなかったのかなと思います。上市駅からですと吉野神宮駅にいつているかたがいらっしゃったのではないかと、ひとつのバスでの系統をまとめるということですが、5分の差で困る方はいてないのかという点が気になります。

奥六田Cコース 吉野病院経由して上市へいきますと、既存の利用者が上市駅にいきたいのに遠回りになるのではないかと疑問もあります。9:35に吉野神宮駅にいるので上市駅にいかなくていいのではないかと思いますがいかがでしょうか。

事務局(コンサルタント)：

Cコースは前回の改正でゆうゆうバスが9:40発のゆうゆうバスに接続するためなので改正しました。今回はそれに合わせた実情になります。

吉野山4ページ上千本口 ゆうゆうバス接続で設定2台で走っているの5分の差で間に合わないの今回、調整して電車には間に合うように問題はございません。系統1本増えることは承知しております。

委員：

5番の件でそもそも年末年始については川上村、ゆうゆうバスともに運休で東吉野村の整合性をとるということですが、需要の分母が違う中でデータなどいままでも29、30日運休で町民からの声があったのか、アンケートをとったのか、逆に市単位などでは年末年始乗れないのでやめていこうところもあります。というところで疑問を感じます。

周知などどうされるのか、東吉野村とのバスを接続するという事で調整されているのか疑問になります。

事務局(コンサルタント)：

自治体が町民の税で公共交通をやらなければならない理由は、民営事業で赤字でできないからということ、採算だけが大事なわけではありません。過疎地域の公共交通の大事な考え方が、住民の

活動保障をしようと、車を持たない方が日常生活をしていく上で必要な活動はきちんとしてあげましょうという考え方です。そういう考え方でいくと、年末年始の準備をするときに運休でいいのか、という話です。不便しているからという投げかけがありました。

赤字だからやめるとか、そういう話ではありません。そこを負担するかという話になるので吉野町としての判断になります。

事務局：

需要があるのかということに関しましては、ご意見としては以前からありましたし、12月の議会で議員さんからぜひ年末年始を動かしてもらえないかという町民さんからの意見だということでしたので、検討しましたが、年始はご家族さんなどの帰省で利用が少ないだろうということで年末の買い物の移動を支援するというので29、30日の運行を提案させていただきました。

それは一名の議員さんからお聞きしたわけではなく、数名の議員さんからも同様に、バスを動かさないかというお話がありました。

議長：

住民の皆様が困っているという意見がいろいろあるかと思います。住民さんの意見を取り入れながらなおかつ効率的な運営を目指していきますが、いろいろ意見はありますが、とりあえず運行して十分周知したうえで、費用対効果も含めて検証していきたいと思います。

他ご意見などございませんでしょうか。

委員：

資料のことで次回から、この便がこの便に接続しているなど、活字でつけていただければと思います。

議長：

事前郵送するとともに、わかりやすく活字で記載させていただきます。

それでは、議題2の「スマイルバス運行計画の見直しについて(案)」の説明がありましたが、概ねこの案で実施の方向で進めていくことをご承認いただけますでしょうか。

- ・ 出席委員全員異議なく承認される。

議長： ダイヤ等の調整については、運行事業者と、許認可については、運輸支局、道路管理者、公安委員会と協議の上、スムーズに実施できるようお願いします。

議長： 議事につきましては以上となりますが、委員の皆様方からのその他、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

## 5. その他

運輸支局:

財政的に赤字路線は撤退するという話ですが、黒字化するとか、補助とかトータルのコストを考  
える方法をとっていかねばなりません。民間事業者でなしえないから市町村からやっていただ  
いているのであって、交通事業者の補完的な形で検討いただきたいと思います。

赤字で回数を減らしたら利用数数が減ってということになります。

交通の大切さ、移動できなければ物も買えないし、友達とも会えないということで、助け合いで近所  
の人が送迎してくれる話でもあるが、気を遣う場合もあります。公共交通の良さを継続していつい  
ただきたいし、まちづくりとしての観点で行先によっては小さな拠点づくりは町の方でもお願いした  
いと思っています。

奈良県:

他の市町村さんも行かせていただいて思う感想なのですが、次回からは初めての方でもわかるよう  
に資料を整理していただいたらありがたいと思います。

## 6. 閉会

委員の皆様、たいへん熱心なご審議ありがとうございました。これをもちまして、第23回吉野町地  
域公共交通協議会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。